

# 超速硬モルタル 無収縮・低弾性タイプ ジェット®モルタル（黄ラベル）

## ◎ 特 長

### 超速硬・無収縮

打設後3時間で24N/mm<sup>2</sup>以上の強度を発現し無収縮性を示します。

### 低弾性

低弾性化（従来品の75%）により補修箇所への応力集中を抑制します。

### ノンポリマー

防水層・仕上げ材への付着阻害因子となるポリマー系混和剤を用いていません。

## ◎ 包装形態



●無収縮・低弾性タイプ  
小野田ジェットモルタル（黄ラベル） 20kg/袋

●ジェットセッターH 30g/袋  
（専用遅延剤）



## ◎ 用途

- コンクリート道路橋の断面修復
- コンクリート欠損補修
- その他緊急工事



## ◎ 性能

数値は試験室データ例です。

環境温度 ℃	1袋当たりの 練り水量 (ℓ)	ジェット セッターH 袋	テーブル フロー値 mm	圧縮強度 N/mm <sup>2</sup>				静弾性係数 <sup>※1</sup> × 10 <sup>4</sup> N/mm <sup>2</sup>
				2h	3h	7d	28d	
10	2.7	1/3	196	22	26	44	50	2.59
20		2/3	175	25	29	47	54	2.70
30		1	176	27	31	51	53	2.73

※1 材齢28d:気中養生

◎ 配 合

1袋当たり	ジェットモルタル (kg)	標準練り水量 <sup>※2</sup> (%)	ジェットセッターH (専用遅延剤)	練り上がり量 (%)
	20	2.6~2.8	適宜 <sup>※3</sup>	約11 <sup>※4</sup>

※2 目標とするコンステンシーを得るために、事前に標準練り水量の範囲で水量を確認してください。

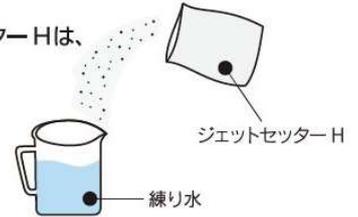
※3 ジェットセッターH (専用遅延剤) は、下表の添加例を参考に環境温度に応じた量を練り水に加えてください。

※4 1m<sup>3</sup>当たりの使用量は、約91袋となります。

◎ 使用方法

小野田ジェットモルタル (黄ラベル) 1袋当たり  
**2.6~2.8%**の標準水量の範囲でご使用ください

練り水とジェットセッターHは、  
あらかじめ計量して  
おいてください。



使用時の注意

- 標準練り水を越える水量で練り混ぜた場合、材料分離や強度不良の原因となります。
- ジェットセッターH (専用遅延剤) は、あらかじめ練り水に所定量を加えてご使用ください。
- 養生は、打設後3時間以上行ってください。また低温下では、打設後、保温養生してください。
- ご使用前にSDSをご確認してください。

● ジェットセッターHの添加例 (ハンドリングタイム20min)

環境温度	10℃ ~	20℃ ~	30℃
使用量 (/袋)	1/3	2/3	1

ハンドミキサーを使用した練り混ぜ



① 練り水投入

② 徐々にジェットモルタルを投入

③ ジェットモルタルを投入して練り混ぜ3分

※アルミ製の羽根は使用しないでください。

専用プレミックスプラント車による製造

打設箇所が多く製造量が多い場合には  
専用プレミックスプラント車による供給が可能



◆ 付着性向上

既設コンクリートの微細なひび割れ補修、付着性向上として「プライマー」、「エポキシ系ボンド」も取り扱っております。あわせてご利用ください。

